

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求め「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

今年の稲刈り体験報告 石川県 鶴来 編

稲刈りは、作り手にとって「喜びの日」であり、共に成長した稲との「お別れの日」であり、収量という、その年の「成績表を受け取る日」でもある。作り手にしか分からない複雑な感情が入り混じるようだ。私は今年、3カ所の稲刈りに立ち会うことができた。今号では、今年無施肥で約1町の作付けをされた石川県鶴来の森さんの田んぼでの稲刈りをご紹介します。



9月24日、この日刈り取る田は、継続3年目の3反8畝の大きい田だ。実は今年の春、私は田植えにも立ち会い、田植え機のアオペレートを任された。水をたっぷり張った状態での特殊な田植えは、マーカの印(田植え機を走らせるための目印となる線)が全く見えず、片道110メートルをグニャグニャと曲がりながら植えたことを思い出す。あれから早4ヵ月。それでも、稔ってみると美しく稲穂が揺れている。

今回、森さんはなんとコンバインのアオペレートまで任せてくれた。コンバインは高額な農業機械の中でも最も高価なため、普通はなかなか触らせてもらえない。最初、隣りに乗ってもらって操作の仕方を教わり、刈り始める。手に汗をかきながら、レバーを操作する。雑草の多い所は稲の背丈が低い。丈の短い稲は籾を取る脱穀部分に行く途中でポロポロ落ちてしまう。少しでも長い状態で刈るため、刈り刃を地面すれすれまで下げると、今度は雑草も一緒に刈ってしまう。しばらくすると、草と稲がコンバインの中に詰まってしまう。これを取るのに一苦労。皆で少しずつ草や稲を取っていく。30~40分かかってようやく取れた。やっとの思いで走り出したが、またしばらくして2度目のクラッシュ！本当に申し訳ない。「はじめのうちは誰でも詰まらせて泣く思いをするんです」と、森さんや仲間の富田さん、山下さんが励ましてくれた。刈り終えるころには日は西に傾き、秋の風は肌寒い。これが一人だったら泣きたくなるだろうなと思った。

今回勉強になったことは、機械刈りとはいえ、そんなに楽なものではないこと、今の機械は、除草剤を撒いて雑草がない、そして稲の丈もある程度の長さがある前提で設計されていること、よって草がはえて丈の短い稲では上手にアオペレートしないと、詰まったり、ロスが多くなってしまふこと。

農業の大変さをまた一つ体験できた。貴重なチャンスくれた森さん、ありがとう。ちなみにこの田んぼはあまり収穫量が上がらなかったが、今年は他の田がとても良く、森さんはご機嫌だった。次号に続く(編集部 関谷)



森さん

自然農法始めました！

船橋市 石川知芳



木島平の体験学習に参加し、勉強会で食の現状や自然農法の作物の尊さを学ぶことで、何か始めなければいけないと思いました。そこで簡単にできる種を購入し、プランターや庭の小さな畑にまき、プチ自然農法を始めました。また新潟の飯塚さんの田んぼのお手伝いを通して、自然農法の普及に貢献したいという気持ちが強くなりました。

2006年結婚、実家を離れ、新しい場所での実践をと思い、畑を探し求め、翌年、貸し農園で20坪の土地を借りることができました。

中山グループの方々や友人から自然の種や苗を頂き、ホームセンターで夏野菜の苗も購入しました。

手探り状態での始まりでしたが、うれしくて、朝早く起きて畑に通いました。有り難いことに、夏場は市販の野菜をほとんど購入することなく、毎日収穫した野菜を食べることができました。会社にも持って行き、肥料も農薬も使っていない野菜の素晴らしさをお伝えすることができ、皆に喜んでいただけました。妊娠中の妻や、体が弱っていた父にもたくさん食べてもらうことができました。(「自然の作物のパワーを実感」参照)

不思議な体験をしたのはジャガイモです。スーパーで購入した男爵とメークイン、我が畑でとれた無肥料の男爵、頒布会で購入した自然の男爵の4種類の種イモを植えたのです。すると、我が畑で採れた種イモはいつまでも葉が青々として、生育期間が長く、大きなイモがゴロゴロ出てきました。市販の種イモからは約4倍の収量でしたが、最後に収穫した我が畑の種イモからは約11倍の収量がありました。その土地で出来たものが種として合うことを実感しました。また市販の種イモはドロドロに近かったのですが、我が畑の種芋は形が残っていたという違いにも驚きました。

無施肥無農薬で収穫できたとき、自然農法の原理を体現できた喜びでいっぱいになります。そして、同じ畑にいる方々にも、なかなか受け入れてはくれないのですが、肥料なしでも実のなる実績を見てもらい、少しずつでも自然農法を広げていきたいと思えます。



注：ジャガイモの自家採種はなかなか難しく、これだけできたのは素晴らしい。また無施肥の種イモは形が残っていることが多い。

自然の作物のパワーを実感

船橋市 石川芳雄



平成17年末ごろのことですが、下痢が続く、体の疲れを感じるようになりました。食欲はあるのに、いくら食べても身にならず、だんだんやせていって、心配になり、病院へ行ってみると、糖尿病と診断されました。私は酒もタバコもやらないし、三度の食事もしっかりとしており、糖尿病だけは他人事と思っていましたので、まさかと思大変なショックでした。

医者からは、毎日薬を飲むことと、歩くこと、そして血圧、血糖値を計り、一番大事である食事療法をして、様子を見ましようと言われました。

そこで、中山グループの畑でとれた野菜、息子が作った野菜(「自然農法始めました！」参照)など、少しでも自然の作物を取り入れ、妻に調理してもらうなど、野菜中心の食事を心がけました。そのお陰もあり、体力がだんだんついてきて、元気になってきました。

一時は10キロほど体重が落ち、強い風が吹くとフラフラするような感じでしたが、今では体重もほぼ元に戻り、薬も一度も飲むこともなく、今日に至っております。自然の作物の恵みに感謝します。

お知らせ



自然農法農産展 11月3日(祝) 展示 / 11月16日(日) 販売
自然農法頒布会 11月18日(火) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00
自然農法勉強会 11月26日(水) 昼の部 10:30~ 夜の部 19:00~ (別院講堂)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

11月3日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

きじま平自然農産：新米(1kg 1,000円)、もち米、ニンジン、納豆、豆腐、きのこめし
市川生産グループ：煎茶
長柄山自然農園：卵
中島農園：チンゲンサイ、コマツナ、ミズナ、カブ、紅ダイコン、下仁田ネギ
ジョリフィーユ：プリン、マドレーヌ、ちょこっとティラミス、ロールケーキ



お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>